

情報発信ツールの利用方法（アカウント作成）

はじめに

情報発信ツールを利用するためにははじめにしなければいけないのは、アカウントの取得（作成）です。アカウントとは、各種の情報発信ツールを利用するための権利のようなもので、その取得にはメールアドレスの登録等が必要になります。ここでは情報発信ツールごとにアカウントの作成（ユーザー登録）方法についてわかりやすく説明します。

ブログ（アメブロなど ASP 型）

多くのブログサービスでは最初にメールアドレスの登録が必要です。サービスからメールを正常に受信できるようにしておきましょう（メールが迷惑メールに振り分けられたり、ドメイン指定拒否を設定していないかの確認も大切です）。登録する際は任意の ID やパスワードのほか、個人情報の入力が必要められる場合があります。利用規約を確認した上で進めましょう。

アメブロ 登録画面

ブログ（ワードプレスなどサーバインストール型）

ブログのシステムをサーバにインストールして利用するタイプの場合、準備する技術的な難易度は高いですが、個人情報の入力などは基本的に不要です。

Twitter

ユーザー登録にはメールアドレスまたは電話番号が必要です。電話番号で登録する場合は、SMS（ショートメッセージ）を受信できるか事前に確認しておきましょう。

電話番号で登録した場合、登録後に SMS で認証コードが送られてきます。認証コードを Twitter の画面に入力し、案内に従って本登録を進めていきましょう。

Twitter アカウント作成画面

用語解説

- **ドメイン**：インターネット上の住所。ホームページアドレスや電子メールアドレスとして利用されます。
- **A S P**：Application Service Provider の略。インターネットを介したサービスの提供者のこと。

情報発信ツールの利用方法（アカウント作成）

Facebook

ユーザー登録にはメールアドレスまたは電話番号が必要です。SMS（ショートメッセージ）での認証などは Twitter と同様です。Facebook は実名での登録が原則のため、氏名や生年月日、性別等の登録も必要となります。



Facebook アカウント作成画面

Instagram

ユーザー登録にはメールアドレスまたは電話番号が必要です。電話番号で登録する場合は、SMS を受信できるか事前に確認しておきましょう。また、すでに Facebook のアカウントを登録している場合は、そのアカウント情報で登録することもできます。電話番号で登録した場合、登録後に SMS で認証コードが送られてきます。認証コードを画面に入力し、案内に従って本登録を進めていきましょう。



Instagram 登録画面

その他（LINE）

LINE のユーザー登録には電話番号または Facebook アカウントが必要になります。登録時には年齢確認が求められます。確認を行うと友だちの検索がしやすくなります。LINE の場合、メールアドレスの登録は後でも可能です。メールアドレスを登録しておく、機種変更や電話番号が変わった際に、LINE の情報を引き継ぐことなどができるので便利です。



LINE 登録画面



パスワードの使い回しは避ける。可能なら二段階認証を

複数のサービスで同じパスワードを使い回していると、ひとつのサービスで情報漏えいが発生した時、他の利用しているサービスにも不正アクセスされる場合があります。パスワードの使い回しは避けて、各サービスごとに異なるものを設定しましょう。

パスワード認証には、自分の携帯電話で認証確認できる二段階認証に対応したサービスもあり、セキュリティを高めることができます。

